

令和5年度ふるさと・棚田支援事業計画

1 事業の目的

- ①農地（棚田）や水路等の多面的機能に係る府民理解の拡大を図る。
- ②農地（棚田）や水路等の維持管理と多面的機能の良好な発揮を図る。
- ③都市農村交流等の活用による地域活動の活発化と農村地域の現状に対する理解の拡大を図る。

2 活動予定

① ふるさと発見隊

次世代を担う子供達が地域内外の人達と一緒に、農業・農村の役割・歴史・文化や里山・水田が育む豊かな生態系等について体験を通じて学習し、ふるさとの農山村に誇りと愛着を高める取組み

局名	内容
山城	○ 田んぼや農業農村の多面的機能に関する学習（管内）
南丹	○ 農業体験や農村（ふるさと）に関する学習（管内）
中丹	○ 小学4年生による体験学習「井堰・ため池について」（管内2地区）
丹後	○ 田んぼと農業用排水路周辺の生き物調査（管内5地区） ○ 小学校の授業として行う生き物調査及び水質調査（管内2校） ○ 松苗の植樹体験、海岸松林(防風林)の役割等の学習（管内1団体）

② さとボラ

農地や農業用施設の維持保全活動を非農家や都市住民も「ふるさと」の守り手として一緒に参加、支援する取組。活動を通じて、ボランティア組織を立ち上げるなど継続的な活動のきっかけづくりを行う。

局名	内容
南丹	○ 過疎・高齢化集落の住民と都市住民が協働で行う地域保全・振興活動を募集し、実施する。

③ 教育実践パートナーシップ活動

水路や農道などの農業用施設の保全活動や地域特産品の試作などを通じて、学校（高校・大学）と農村地域との連携を高める取組み

局 名	内 容
山 城	○ 京都府立木津高校（和束町と連携した、完熟堆肥の学習・研究）
南 丹	○ 管内農業高校生（土地改良区、市町等と連携した農業用水利施設の役割や管理を学ぶワークショップ）

④広報活動・出前授業・その他

局 名	内 容
山 城	○ 田舎暮らしの魅力発信 ○ 農家民宿の開業支援
南 丹	○ 京都丹波田舎暮らしの魅力発信
中 丹	○ 各所取組実施時には、新聞・TV等マスコミ各社に対し、積極的な広報対応を実施
丹 後	○ 模型を用いた出前授業で棚田やため池の構造・機能を実演解説 ○ 農と水と環境を守る子ども絵画コンクール作品展にて、多面的機能支払交付金の事業概要やふるさと発見隊の活動風景を掲示
京都乙訓	○ イベント等での中山間地域における取組のPR

○冊子「新・田舎人」配布（農村振興課・各広域振興局において配布）

○府庁2号館、府農林水産フェスティバル等でのパネル展示